

平成27年度 途別小学校 学校評価 児童アンケート結果

平成28年1月末日

		児童数				回収数				考察・改善の手立て	
		20人				19人					
		H25	H26	H27	H26からの増減	内 訳					
評価点（3.0満点）					つよく思う	ふつうに思う	あまり思わない	無答			
Q1	あなたは、学校が楽しいと思うことが多いですか。	2.7	2.7	2.4	0.3↓	47%	47%	6%	-	引き続き、教師と児童、児童同士の温かなふれあいを大切にするとともに、学ぶことの喜び味わわせていく。	
Q2	あなたは、じゅぎょうがわかりやすいと思うことが多いですか。	2.6	2.4	2.2	0.2↓	31%	53%	16%	-	あまり思わないと答えた児童はいずれも低学年であり、発達段階に応じたわかりやすい学習指導が必要である。	
Q3	あなたは授業でわからないことがあるとき、先生にしつもんできますか。	1.9	2.3	2.2	0.1↓	26%	63%	11%	-	児童の学習状況を的確に把握するとともに、進んで課題を解決する姿勢をはぐむ手立てを講じる必要がある。	
Q4	あなたは、じゅぎょうに集中して取り組むことができますか。	2.5	2.3	2.1	0.2↓	26%	58%	16%	-	一単位時間の授業の流れを工夫するとともに、よく聞き、よく考え、よく交流できるような手立てが必要である。	
Q5	あなたは読書やふく習など、家庭学習ができますか。	2.6	2.3	2.3	-	37%	47%	16%	-	保護者の願いと児童の自己評価が近づくような手立てが必要である。	
Q6	あなたは、ちいきの方や先生、友だちにあいさつができますか。	2.6	2.7	2.1	0.6↓	26%	58%	16%	-	保護者の願いと児童の自己評価が近づくような手立てが必要である。	
Q7	あなたは、学校の決まりや社会の決まりを守ることができますか。	2.4	2.4	2.1	0.3↓	16%	74%	10%	-	約9割の児童が、約束やルールを守って学校生活を送っているが、規範意識を高める手立てが必要である。	
Q8	あなたは、学習や学校行事などで、友だちと協力して取り組むことができますか。	2.4	2.6	2.4	0.2↓	58%	37%	5%	-	ほとんどの児童（95%）が協働的に活動しようと努力していることがわかる。	
Q9	あなたは、難しいことでも、最後まであきらめずに取り組むことができますか。	2.4	2.4	2.4	-	42%	53%	5%	-	ほとんどの児童（95%）が自分の学校行事などで粘り強く努力していることがわかる。	
Q10	あなたは、友だちについて なやんでいることがありますか。	ある 8名（42%） ない 11名（58%）								-	

<各教科のとらえ>	はい	どちらでもない	いいえ	理由
① 国語の学習が好きですか。	37%	42%	21%	○色んな話や物語を読めて楽しい。●字を書くのが嫌い。●漢字を覚えるのが大変。
② 社会の学習が好きですか。	33%	67%	0%	○歴史などを学ぶのが楽しい。○人々のいろいろなくらしがわかるから楽しい。△都道府県を覚えるのは少し苦手。
③ 算数の学習が好きですか。	50%	30%	20%	○計算が楽しい。○まちがえるときがあるけれど、できた時にうれしくなる。●計算が苦手だから嫌い。
④ 理科の学習が好きですか。	100%	0%	0%	○実験が楽しい。○色々なことにくわしくなったらうれしい。
⑤ 生活の学習が好きですか。	67%	22%	11%	△日記を書くのはいやだけど、やさいをそだてるのが好き。○もちつきなどするから好き。
⑥ 音楽の学習が好きですか。	74%	16%	10%	○楽しい歌が歌えるから好き。○いろいろな楽器を使えるから好き。●声を出すのが苦手。
⑦ 図工の学習が好きですか。	83%	6%	11%	○自分が考えて思ったことを作品にできる。○好きな絵をかいいたり、作品をつくったりすることができるから。
⑧ 家庭科の学習が好きですか。	100%	0%	0%	○家に帰って実際にできるものがある。○おいしいものをつくることができるから好き。
⑨ 体育の学習が好きですか。	68%	21%	11%	○体を動かすのが好き。●体を動かすのは楽しいけれど、ケガをしそうになるのがこわい。
⑩ 道徳の時間の学習が好きですか。	47%	42%	11%	○自分の考えを自由に出せることがおもしろい。○おもしろい動画が見れる。いろんなことを考えられる
⑪ 総合的な学習の時間の学習が好きですか。	70%	30%	0%	○全校でやるときがおもしろい。○野菜を育てたりするのが好き。○みんなで協力して楽しいことができる。
⑫ 外国語活動の時間が好きですか。	20%	50%	30%	○発音が難しいけど楽しい。●何を言っているかわからない ●英語を使うのが難しい。

<まとめ> 上段の回答から、途別小の子どもたちの多くは、学びや活動に難しさを感じながらも目標に向かってチャレンジしていること、友達とのかかわりや協働的な学びを通して、自分を見つめたり、自分の周りとの関係を少しずつ広げ、学校生活におもしろさや楽しさを感じていると考えられる。一方で、少数ではあるが、学びや活動において、慣れるまで時間がかかったり、自分の壁を乗り越えられなかったりする児童がいるから、一人一人の認知特性や学習状況を的確に把握し、小規模校ならではのきめ細かな指導を展開し、子どもたちが新たな学びを探究していくことができるように努めていくことが大切である。